



目次

短期専門家の活動.....	1
4村での識字教室.....	2
ルミクルス村の組織と活動	2
JICA エクアドル支所の新所長.....	2
技術団の日本訪問.....	3
参加型予算計画 —民主主義の強化のために—	3
インタビュー:「差別と貧困をなくすための参加」.....	4
プロジェクト名称とロゴ.....	4



ルミクルス村から見たチンボラソ火山 (6310m)

短期専門家の活動

4人の日本人短期専門家が10月24日から、チンボラソ県における貧困削減のためのプロジェクト Minka Sumak Kawsay で活動しています。

短期専門家たちは、プロジェクトのカウンターパート組織の、チンボラソ県議会、教育省、環境省、保健省、農牧省の技術者と共に、活動をしています。

中島大助(農業生産専門家)、小川慎司(環境専門家)、大谷雅代(教育専門家)、斉藤昌子(保健衛生専門家)各短期専門家が、45日間の派遣期間中、以下の活動を行います:

- ・ 分野別の開発計画の策定
- ・ 中期間の活動予定表の策定
- ・ 分野別試行事業計画の策定
- ・ 分野別プロジェクトプロセスの策定

短期専門家により、プロジェクト活動の一部として、今回展開される活動は、2010年から集落で展開される試行事業実施の支えとなることでしょう。



4村での識字教室

プロジェクト Minka Sumak Kawsay で、基本ラインを調査した結果、モデル集落における中心問題の一つは、非識字であることが分かりました。

JICAとチンボラソ県議会はこの必要性を再認識し、10月から識字教育プログラム“Yo si puedo(私はできる)”の活動を始めました。この活動は、2010年1月まで実施されます。

識字教育のあと、その後の段階であるプロジェクト“Soy Emprendedor(私は行動派)”が実施される予定です。

次の村落で、合計93人が、識字教室に参加しています。

- サラチュパ村 30人
- リリオ村 36人
- グアコナグランデ村 18人
- ルミロマ村 9人

JICAでは、村落で行われる識字教育クラスのため、計100脚の椅子を提供しました。



Lirio 村の識字教育授業

ルミクルス村の組織と活動

リオバンバ市のルミクルス村は、プロジェクト Minka Sumak Kawsay のモデル村落の一つです。

ルミクルス村の、水資源委員会の委員長のセグンド・ムニョス氏は、この地域の住人は皆、「プロジェクトのモデル集落に選ばれたことに誇りを持っています」と言います。

「この村に住む人々の希望は、これ以上の移民を止めることと、私たちの村を、全ての分野で、できるだけ強いものにしていくことです。」とムニョス氏は語りました。



JICA エクアドル支所の新所長

JICA エクアドル支所の支所長、山口三郎氏は3年の任期を終え、11月12日に日本へ帰国しました。



高井正夫所長

そして、高井正夫氏が11月9日にエクアドルに到着し、事務所の新所長として、その職務を引き受けることとなりました。山口前所長は、プロジェクト Minka Sumak Kawsay の立ち上げのために、チンボラソ県議会と4つの省庁との協定サインを結びました。

技術団の日本訪問

チンボラソ県議会の技術団の、日本での視察計画が実施され、マリアノ・クリカマ知事と、公共事業部長のオスワルド・アルミホス氏が、私たちの県にとって、とても意義深い訪問を行いました。

私たちの代表者が、日本で視察したプロジェクトは、プロジェクト Minka Sumak Kawsay の試行事業が実施されるチンボラソ県の集落においても活用できるものがあります。例えば、「一村一品運動」は、チンボラソの中でプログラムされているものにとってもよく似ており、ポピュラーで参加型開発の性格を持っている。

彼らの日本訪問は、試行事業段階の後、5年間実施される予定のプロジェクトフェーズ2の実施方針を考える上でも役立ちます。このため、チンボラソ県議会の他の技術者たちもまた、日本や JICA が活動している他の国々での研修を受けてきています。



公共事業部長 オスワルド・アルミホス氏 /
平松 前大分県知事 /
マリアノ・クリカマ チンボラソ県知事

参加型予算計画 ー民主主義の強化のためにー

現憲法のもとで設立された県政府の新たな権限により、2006年12月に発布された参加型予算計画の条例「市民参加による民主的予算計画」に基づき、2010年予算設立プロセスが始まりました。

55の区（パロキア）議会と、10の市議会、県令の立法を決定する県フォーラムが実施されます。その中で、コミュニティ社会からの参加者によって、優先すべきプログラムとプロジェクトが選ばれ、後に開発事業のなかで具体化されます。

区（パロキア）議会は11月30日に始まりました。ここでは、灌漑、道路網、環境、農業生産活動、保健衛生（最後の2つは県政府の管轄）等の、各テーマごとのプロジェクトに対する意見の一致が行われました。

憲法に記される「透明性や情報の公開等による、住民社会コントロールによる民主主義の強化」のため、全ての地域の権限者と社会組織が召集されました。



インタビュー：「差別と貧困をなくすための参加」



環境省県事務所長セサル・フレイレ氏

環境省はプロジェクト Minka Sumak Kawsay のカウンターパート組織として、チンボラソ県の貧困削減のために活動しています。

環境省の県事務所長セサル・フレイレ氏は、「このプロジェクトは村レベルでの実施であるということと、一番必要性のある分野で実施することなので、とても良い印象を持っています」といいます。

「貧困の削減、村の差別をなくしていくために、他の省庁とともにこのプロジェクトに参加することは、私たちにとってとても意義深いことだと思います。」

和訳版特別記事

プロジェクト名称とロゴ



プロジェクトの正式名称は、とても長くて覚えにくいので、「MINKA SUMAK KAWSAY」という、ニックネームを付けて呼んでいます。

先住民の村落には、昔からミンガ（共同作業）をする習慣があります。プロジェクトでは関係者が力を合わせるという意味で、ミンガ（キチュア語で MINKA）を入れ、「SUMAK KAWSAY（よい生活）」を目指すという名称を付けました。

この名称を元に作られたロゴマークには、チンボラソ火山と、それにかかる日本の日の丸、そしてミンガを示す手のつながりと、エクアドル国旗の3色（黄・青・赤）が示されています。

※ スペイン語・キチュア語版の広報誌には掲載していませんが、和訳版では紙面が余ったので、記事を載せています。

この広報誌（和訳版）は、2ヶ月ごとに、スペイン語とキチュア語で作成され、関係機関やモデル村落などに配布されている、プロジェクト広報誌「Minka Sumak Kawsay」を、和訳したものです。

Proyecto Minka Sumak Kawsay

住所: Primera Constituyente y Carabobo esquina • 電話: 593 3 2961 516 • e-mail: proyectojica@chimbora.gov.ec

日本語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/index.html>

スペイン語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/spanish/index.html>

キチュア語ホームページ: <http://www.jica.go.jp/project/ecuador/0800613/quechua/index.html>